













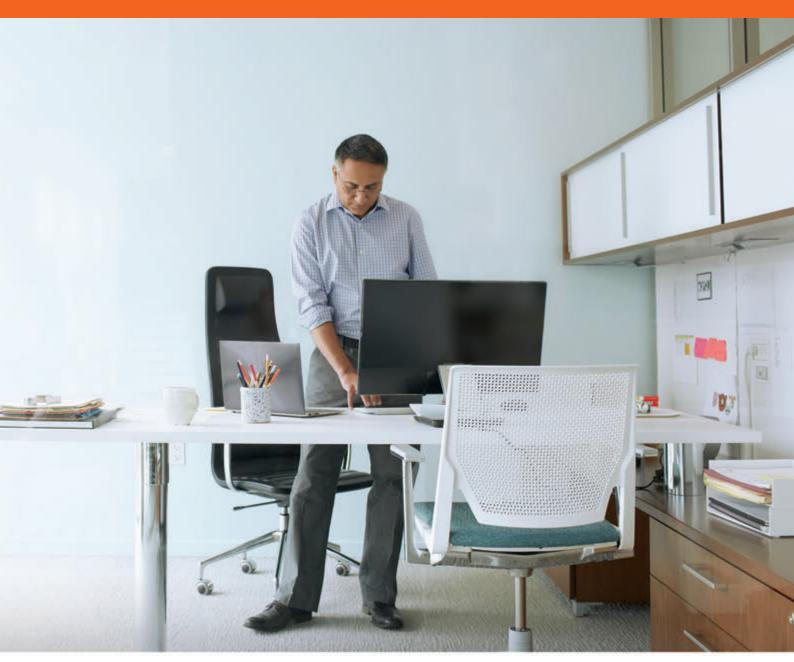




Skype

法人向け Office カタログ

あなたの働き方を変える新しい Office





新しい Office。

必要なときに、必要な人と。 つながるワーク スタイルへ。

「変化への対応力」を支えるクラウドサービス Office 365 との連携により、いつでも、どこでもセキュアな環境で生産性高く働くワーク スタイルを実現します。





新しい Office がもたらす多彩な機能が、 あなたのビジネスを変革します。

共同作業の効率化、使いやすさの向上、セキュリティの強化、Windows 10 との連携。新しくなった Office は、ビジネス にさまざまなメリットを与えます。たとえば、シンプルになった共有機能を利用すれば、簡単に他のメンバーと 一緒にドキュメントを作成、編集できるだけでなく、メンバー全員が最新の情報やデータにいつでもアクセスすることが できます。オンライン会議を利用すれば、会議室にいなくても、すべての出席者が同じ室内にいるかのように会議を 進めることができます。さらにユーザーごとに割り当てられるクラウドストレージを利用して、いつでも、どこでも 安全に作業ができます。

さあ、新しい Office で、ビジネスを変革しましょう。



チーム ワークをより円滑に

チームの成功を妨げる障害を取り除き、 共同作業を円滑に進めます



Windows 10 に最適

Office 2016 は Windows 10 上で 最適に動作します



使いやすさの追求

さまざまなインテリジェント ツールが



揃っています

最高の安全性

企業が必要とするレベルのセキュ リティを実現するための機能が



安全性、生産性、操作性。 すべてが向上した 最新の Office 2016 をクラウド サービス Office 365 で提供。

Word や Excel などの Office クライアントも今はクラウドが標準。クラウドといっても、Web で使用するオンライン版 Office ではなく、PC などのデバイスにインストールする Office。常に最新の機能やセキュリティ パッチが、クラウド上からユーザーへ直接配信されるという新しいタイプの Office、それが Office 365 ProPlus。 Office 365 との連携により、いつでも、どこでも安全な環境で生産性高く働くワーク スタイルを実現します。

モバイル ファースト、クラウド ファーストの時代に適したライセンス モデル

Office 365 ProPlus は、1 ユーザーあたり 15 デバイスまでのライセンスが含まれているため、会社ではデスクトップ PC、外出先ではタブレット、在宅勤務時には自宅の Mac など、目的によって複数のデバイスを使い分けながらいつでも、どこでも使い慣れた Office を使って仕事ができます。

2

チーム ワークをより円滑に

チームの成功を妨げる障害を取り除き、共同作業を円滑に進めます

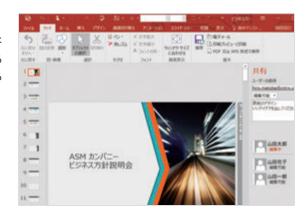
【共同編集】

他のユーザーの作業場所と編集内容をリアルタイムで確認しながら、1つのドキュメントを他のユーザーと共同で編集することができます。



【シンプルになった共有】

アプリケーションの右上の「共有」ボタンをクリックして、簡単にドキュメントを共有できます。「共有」ペインにはアクセス権があるユーザーが表示され、編集中のユーザーをリアルタイムに確認することができます。



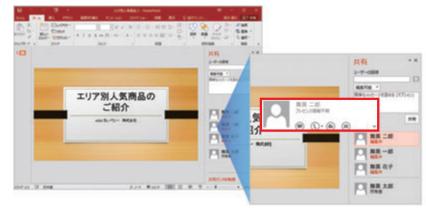
【共有ノートブック】

写真、動画、クリッピング、図面など、プロジェクトに関連する情報を OneNote で共有できます。 ノートを共有することで、他のユーザーと共同で作業ができます。



[Skype for Business]

Office との統合により、Skype for Business はより使いやすく進化しています。ドキュメントから直接 IM の送受信、画面の共有、音声/ビデオ通話を実行できるため、画面を切り替えることなく他のユーザーの意見を取り入れながら作業を進めることができます。



【モバイル アプリケーション】

Office はデバイスを選びません。Windows、Android、Apple のどのデバイスでも最適なユーザー エクスペリエンスをご提供します。使い慣れた Office で、どのデバイスでも同じようにドキュメントの閲覧、編集、分析、プレゼンテーションを行うことができます。



2

Windows 10 に最適

Office 2016 は Windows 10 上で最適に動作します

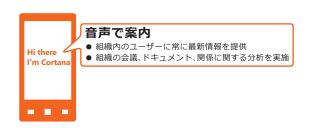
[Windows Hello]

目で見たり、タッチするのではなく、顔、指紋、眼球の虹彩といったパーソナルな方法で Windows 10 デバイスにサインインする機能です。この機能で Office 365 にもサインインすることもできます。パスワードを入力することなく、セキュリティ レベルを維持することができます。



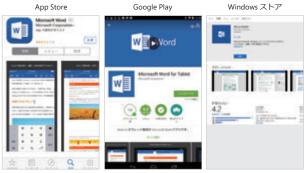
【Cortana と Office 365 の連携】

あなたのパーソナル アシスタントの Cortana があなたの作業をサポートします。あなたの予定を確認し次にすることを教えてくれたり、会議の準備のために関連するファイルを検索してくれたり…。使えば使うほど賢くなっていきます。



【Windows 10 デバイス用 Office モバイル アプリケーション】

Office Mobile アプリケーションは (Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、OneNote) は、タッチスクリーン向けに新規に開発されたアプリケーションで、Office ユーザーが求める使い慣れた環境が用意され、外出先での生産性の向上に必要な機能が組み込まれています。



※ デバイスによっては、プレインストールされているものもあります。



さまざまなインテリジェント ツールがユーザーのやりたいことを手助けします

【ファイル添付は3クリックで完了】

最近使用したドキュメントがリストアップされることにより、添付したいファイルを探す手間が省けます。OneDrive for Business や SharePoint Online などクラウド上に保存したドキュメントをリンクとして添付することで大容量のメールを送ることなく必要な情報共有ができます。メールの宛先に入れた相手へのアクセス権設定もOutlook内で行えるため、アクセス権の設定が漏れる心配もありません。

ADDRESS

【文書作成をさらに簡単に】

リサーチ ツールを使用すると、関連する引用文、引用 文献、画像など、文書作成に必要なリソースを Word から移動せずに探すことができます。



【必要な情報を自動表示】

機械学習機能で Office 365 内のユーザーのアクティビティを学び、膨大な情報の中からユーザーに関連があると思われる情報を自動表示します。

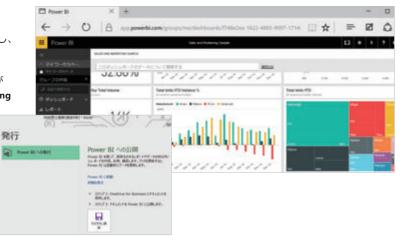
※ ご利用には、Office 365 E1 以上のライセンスが必要です。



【強力な分析ツール】

Power BI を使えば誰でも簡単にデータを分析し、 共有することができます。

※ 無償でご利用可能な Power BI と 有償の Power BI Pro があります。https://powerbi.microsoft.com/ja/pricing



【実現したいことを教えてくれる】

もうリボンの中で機能を探し回る必要はありません。実行したい 操作を自由に入力するだけで、操作アシストがご案内します。





最高の安全性

企業が必要とするレベルのセキュリティを実現するための機能が揃っています

- クラウドから最新版を自動展開
- 多要素認証で社外からも安全にアクセス
- データ損失防止機能によりうっかりミスによるデータの誤送信を防止
- Information Rights Management (IRM) による情報保護で情報漏えいを 防止
- 1 TB の個人用クラウド ストレージを使って社外からも安全に情報に アクセス (OneDrive for Business)
- Office 365 モバイル デバイス管理機能でデータのリモート ワイプが 可能なため、万が一デバイスを紛失または盗難にあっても情報漏えい を防止



モバイル端末の中にデータを保存する必要がないので、端末を紛失しても、流出する心配はありません。

より柔軟なアップデートと管理

お客様のニーズに合わせて、アップデートのタイミングや方法が選べます。

【Channel モデル】

新機能を適用するアップデートのタイミングが3つのオプションから選択可能になりました。

- Current Channel: 毎月
- Deferred Channel: 4 か月ごと
- First Release for Deferred Channel: 4か月ごと (Deferred Channel の検証用のビルドです。)

Current Channel First Release for Deferred Channel Security update DC 2 DC 2 FR DC 2 FR DC 3 FR DC 4 Current Channel

【バックグラウンド インテリジェント転送 サービス (BITS)】

使用可能になった未使用の帯域幅を利用しながら、データを少量ずつ転送することにより、他のネットワーク アプリケーションに影響を与えず更新プログラムをダウンロードします。



【配信管理の改良】

System Center Configuration Manager との統合改良により、さらに効率的なアップデートの配信管理が可能になります。配布モードと呼ばれる新しいモードが提供され、最も近い配布ポイントを探してアップ デートをダウンロードします。



的確なアップデートのチェックと展開を実現

【ライセンス管理の簡素化】

Office 365 管理ポータル内で、管理者がユーザーごとの Office ライセンス認証デバイス数を把握、一元的に管理することができます。



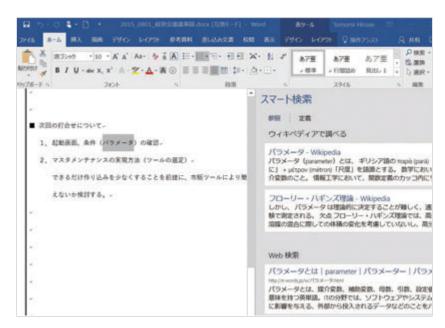
リアルタイムな共同作業のための強力なソリューション

Word 2016

利用者をサポートするスマート検索、直感的な編集やリアルタイムでの共同編集など、表現力に富んだ美しいドキュメントの作成がさらに容易になりました。作成したドキュメントはクラウドに保存することで共有できるので、チームメンバーとの作業も簡単。相手が Word を持っていなくても、ブラウザーさえあれば共同作業を行うことができます。

【スマート検索】

Bing を利用したスマート検索で、ドキュメント内の用語を確認または検索することができます。



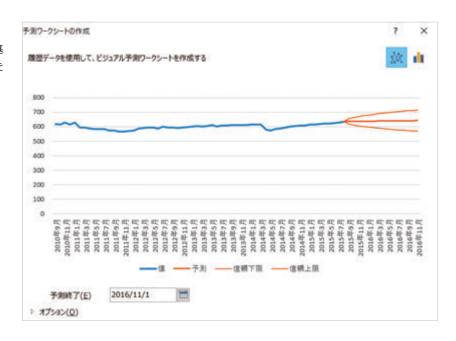
強化された機能でだれでも簡単にデータ分析が可能に

Excel 2016

手元にあるデータから将来の予測もワンクリックで簡単。社員の住所録をまとめるのも、売り上げを分析するのも強化された分析機能とグラフを使えば誰でも簡単に作業ができます。また、Office の機能を全部把握していなくても大丈夫。「操作アシスト」がご案内します。

【ワンクリックで予測】

1回のクリックだけで、過去のデータに基づいて予測グラフを作成し、将来の傾向を 予測できます。



PowerPoint 2016

洗練されたテンプレート群やスライドのデザインをサポートする機能を活用すれば、ストーリーを構築し、明確で自信に満ちたプレゼンテーションを作成できます。作成したプレゼンテーションは既定でオンラインの OneDrive または SharePoint に保存されるので、チーム メンバーとの共有やコメントのやり取り、外出先からもモバイル デバイスを利用して編集するなど、完成度を上げるための作業が効率的にできます。

【デザイン アイディア】

PowerPoint 2016 のテンプレートに写真を挿入するだけで、自動的にさまざまなレイアウトや配色を提案してくれ、デザイン性の高いドキュメントを誰でも簡単に作成することができます。



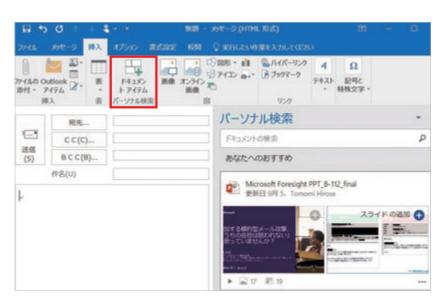
最もスマートな電子メール ソリューション

Outlook 2016

添付ファイル機能が強化され、最近使用したドキュメントがリストアップされるため、ファイル添付は3クリックで完了します。OneDrive for Business や SharePoint Online などクラウド上に保存したドキュメントをリンクとして添付することで大容量のメールを送ることなく必要な情報共有ができます。また、メール画面にタスクや予定表をすべて表示しておくことで、活動に必要な情報を1か所で見渡すことができ、画面を行き来する必要がありません。さらに強化された検索機能で必要な情報によりスムーズにアクセスできるようになりました。

【コンテンツを検索して再利用する】

パーソナル検索機能を活用すれば、自分や同僚が頻繁に使用する関連ファイルを検索し、再利用することができ、作業スピードが上がります。



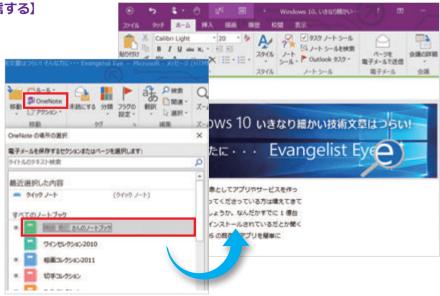
どのデバイスでもいつものノートが目の前に

OneNote 2016

テキストだけでなく、写真やビデオ、Web リンクなどのスクラップはもちろんのこと、手書きの図を書き込んだり、 音声を録音したり、Word や PowerPoint のドキュメントを追加したりできます。

【メールでノートを自分自身に送信する】

me@onenote.comのアドレスを使って、受信トレイのコンテンツを OneNote に送信することができます。OneNote にメールを送信する方法は、重要なコンテンツを保存する手段として役立ちます。保存したコンテンツは後で簡単に見つけることができます。外出先で備忘録を自分に送りたいときは、短いメールを作成するだけです。



データの価値を高めるデータベース作成が可能に

Access 2016

テーブル テンプレートを使えば、使いやすく見た目にも美しい Access アプリケーションを簡単に完成させることができます。魅力的で使いやすいインターフェイスと一貫性のあるユーザー エクスペリエンスが特徴です。

【便利なテンプレート】

テンプレートを利用して、開発者でなくてもカスタムアプリをすばやく作成することができます。 データは自動的に SQL データベースに格納されるため、セキュアな環境で同僚と簡単にアプリケーションを共有することができます。



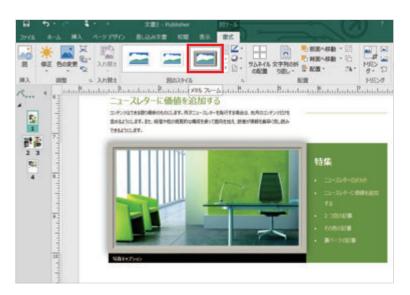
プロフェッショナルなドキュメント作成が自在に

Publisher 2016

プロフェッショナル レベルのさまざまなドキュメントを容易に作成、カスタマイズ、共有できます。 シンプルなドラッグ アンド ドロップ操作で写真を差し替えることや、オンライン アルバムから写真を直接追加することができます。

【特殊効果を使用する】

特殊効果を使用して、ドキュメントの差別化を図ることも可能です。 見出し一覧、ストーリー、カレンダー、飾り枠、広告など、さまざまなページ パーツを利用できます。



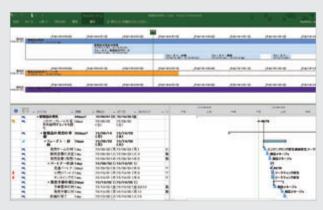
Project and Portfolio Management の世界標準ツール

Project 2016

プロジェクト管理、ポートフォリオ管理とリソース管理が行える Microsoft Project は、プロジェクト マネージャーのみならず、事業責任者や PMO が必要な情報にアクセスし、さまざまなシミュレーションを行うことで、すばやい意思決定を支援するツールです。

【マルチ タイムライン ビュー】

新しく搭載された「マルチ タイムライン ビュー」により、作業のさまざまなフェーズやカテゴリーを図示できるだけでなく、各タイムラインの開始日と終了日を別々に設定して、関連する作業の全体像をよりはっきりと描くことができます。



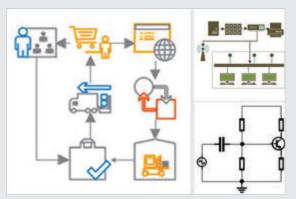
手早くプロ並みの作図ができる

Visio 2016

4,400 個のシェイプ、400 種類のステンシル、70 のテンプートを使って、誰でも手早くプロ並みの美しい作図ができる業界をリードする作図ソリューションです。

【新しいスターター画面】

さまざまなテンプレートで、悩むことなくすぐに図形の描画を 開始できるようになりました。いずれかのスターター図面を選 び、テキストを変更して、ヒントを試し、図形の描画を開始する だけです。



【機密情報の保護強化】

Information Rights Management (IRM) 機能の追加により、機密情報の漏えいを防止することができます。



[製品のラインアップ]

		Office 365 Business	Office 365 Business Premium	Office 365 ProPlus	Office 365 Enterprise E3	Office 365 Enterprise E5
アプリケーション	Word	•	•	•	•	•
	Excel	•	•	•	•	•
	PowerPoint	•	•	•	•	•
	Outlook	•	•	•	•	•
	OneNote	•	•	•	•	•
	Access **4	•	•	•	•	•
	Publisher	•	•	•	•	•
	Skype for Business	×	•	•	•	•
サービス	マルチデバイス **1	•	•	•	•	•
	OneDrive for Business **2	•	•	•	•	•
	Online 版 Office	•	•	•	•	•
	法人メール、予定表、連絡先	×	•	×	•	•
	無制限のオンライン ミーティング	×	•	×	•	•
	共同作業ポータル	×	•	×	•	•
	社内のソーシャル ネットワーク	×	•	×	•	•
	スマート検索	×	•	×	•	•
	組織内動画ポータル	×	×	×	•	•
	コンプライアンスと情報の保護	×	×	×	•	•
	電子情報開示センター	×	×	×	•	•
	未知のマルウェアやウイルスからの 保護機能	×	×	×	×	•
	分析ツール (Power BI Pro + Delve Analytics)	×	×	×	×	•
	Cloud PBX	×	×	×	×	•
	Office テクニカル サポート **3	•	•	•	•	•

- ※1ユーザーにつき、5 台の PC または Mac、5 台のタブレット (Windows、iPad、Android)、5 台のスマートフォンに Office をインストールできます。
- % 2 ユーザーにつき、1 TB の個人用クラウド ストレージを利用できます。
- ※ 3 Office 365 サブスクリプション料金に 24 時間 365 日回数無制限でご利用いただける標準サポートが含まれております。Office 365 ProPlus については、ライセンス認証とインストールに関するお問い合わせが対応範囲です。アプリケーションの使い方については標準サポートでは承れませんので、プロフェッショナル サポート以上の有償サポート サービスをご利用ください。 https://www.microsoft.com/ja-jp/services/support.aspx
- ※ 4 Business および Business Premium のお客様に Access の提供を 2016 年 12月 1日より順次開始しております。詳細は https://aka.ms/accessinbp をご参照ください。

詳細情報はこちら

Office に関する詳細情報は、下記の Office ホーム ページをご確認ください。

https://aka.ms/office2016jp

- ※ 記載されている会社名および、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ※ iPhone、iPad は米国 およびその他の国で登録されている Apple Inc. の登録商標です。
 App Store は Apple Inc. のサービスマークです。Android、Google Play は Google Inc. の商標です。
- ※ 記載されている情報は、2016 年 12 月現在のものです。
- ※ 本カタログで使用している画像はイメージです。
- ※ 画面はハメコミ合成です。
- ※ 製品の仕様は、予告なく変更する場合があります。 あらかじめご了承ください。

製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

- ■インターネットホームページ http://www.microsoft.com/japan/
- ■カスタマー インフォメーション センター 0120-41-6755 (受付時間: 9:00-17:30 ※土日祝、弊社指定休業日を除く)
- ※携帯 / PHS からもご利用いただけます。 ※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

